

【安全で良質な水】

◇運営管理
(1)水質管理

◇基準 高:高いほど良 低:低いほど良	◇判定 ↑:改善 →:変化なし ↓:悪化	◇優劣 優:全国中間値より良い 劣:全国中間値より悪い 同:全国中間値と同等	◇全国中間値(平成29年度値) (公財)水道技術研究センターで公表している全国の水道用水供給事業の度数分布図から中間値(50%値)を記載した。
---------------------------	-------------------------------	---	--

番号	指標名	定義	基準	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	判定	優劣	全国中間値	説明
A102 (1105)	最大カビ臭物質濃度水質基準比率(%)	$[(1-\text{ジェオスミン最大濃度}/\text{水質基準値})+(1-2-\text{メチルイソボルネオール最大濃度}/\text{水質基準値})]2 \times 100$	高	75	85	85	80	80	85	80	80	85	85	→	—	未公表	給水栓水で、2種類のカビ臭物質最大濃度の水質基準値に対する割合。水質基準値ギリギリであると0%、全くカビ臭物質が含まれないと100%になる。
A104 (1108)	有機物(TOC)濃度水質基準比率(%)	$(\text{有機物最大濃度}/\text{有機物水質基準値}) \times 100$	低	40	27	37	33	30	33	33	40	37	30	↑	—	未公表	給水栓水で、水質基準値である5mg/lに対する最大有機物(TOC)濃度の割合。
A105 (1110)	重金属濃度水質基準比率(%)	$\sum (x_i/X_i)/6 \times 100$ 重金属:カドミウム及びその化合物、水銀及びその化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、ヒ素及びその化合物及び六価クロム化合物の6種。 xi:各重金属の給水栓での年間測定最大濃度。 Xi:各重金属の水質基準値。	低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	→	—	未公表	給水栓で、水質基準に定める6種類の重金属の基準値に対するそれぞれの重金属最大濃度の割合を平均値で示す。
A106 (1111)	無機物質濃度水質基準比率(%)	$\sum (x_i/X_i)/6 \times 100$ 無機物質:アルミニウム及びその化合物、塩化物イオン、カルシウム・マグネシウム等(硬度)、鉄及びその化合物、マンガン及びその化合物、ナトリウム及びその化合物の6種。 xi:各無機物質の給水栓での年間測定最大濃度。	低	8	11	8	6	6	9	11	10	5	5	→	—	未公表	給水栓で、水質基準に定める6種類の無機物質の基準値に対するそれぞれの無機物質最大濃度の割合を平均値で示す。 ミネラル分の割合。

(2)施設管理

番号	指標名	定義	基準	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	判定	優劣	全国中間値	説明
A201 (1101)	原水水質監視度(項目)	原水水質監視項目数 監視頻度が月1回より少ない項目数を引用しているため*をつけている。	—	* 205	* 205	* 207	* 214	* 257	* 257	* 257	* 257	*253	*249	↓	—	未公表	原水で何項目水質監視しているかを示す。
A203 (5002)	配水池清掃実施率(%)	5年間に清掃した配水池容量/配水池総容量 × 100	高	173	153	155	160	159	155	165	153	159	154	↓	—	未公表	全配水池容量に対する清掃した配水池容量の割合を示す。

(3)事故災害対策

番号	指標名	定義	基準	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	判定	優劣	全国中間値	説明
A301 (2201)	水源の水質事故件数	年間水源水質事故件数	低	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	→	同	0	年間の有害物質(油、化学物質の流出など)による水源汚染の回数を示す。この指標は水道事業者の責任ではないが、重要なものである。
A302 (1116)	活性炭投入率(%)	$(\text{年間活性炭投入日}/\text{年間日数}) \times 100$	低	6.6	19.7	4.4	0.0	18.4	18.3	17.5	6.0	17.5	16.9	↑	—	未公表	粉末活性炭を投入した日数の年間割合。原水水質の良し悪しの指標。